

国際シンポジウム：アジア太平洋の無国籍者のくらしと権利 ～無国籍者地位条約70周年によせて～

2024年6月1日（土）

13：30～17：00

場所：早稲田大学 大隈記念講堂小講堂
ウェビナー

言語：英語および日本語（同時通訳）



お申し込みフォーム



<https://t.ly/l0VEz>

参加費無料

出生登録されること、学校や病院に行くこと、結婚すること。「当たり前」に思われていることが、多くの無国籍者にはできません。現在世界で把握されている国籍を持たない人々は440万人ですが、実際にはずっと多いと言われています。

今年は、「無国籍者の地位に関する条約」が採択されてから70年、UNHCRの「無国籍解決 #IBelongキャンペーン」の最後の年です。

世界では約100もの国々が同条約に入っていますが、日本を含むアジア太平洋の国々の多くは入っておらず、無国籍者を正確に把握する制度也没有。一方で、無国籍者の保護や生活の向上に資する「持続可能な開発目標(SDGs)」に積極的に取り組んでおり、主要な人権条約にも入っています。

この度、フィリピン、タイ、マレーシアそして日本における無国籍の最近の進展やグッド・プラクティスなどに焦点をあて、各国から専門家や当事者の背景を持つ実務家等をお迎えして、無国籍者の人権やウェルビーイングを向上するために何ができるかを一緒に考えます。

CHEN Tianshi Lara *Stateless* (NUS Press 2024) 書評、
無国籍ネットワークユースによる絵本やゲームを使ったワークショップ、
無国籍者のウェルビーイングのための即興劇（参加型ワークショップ）も開催。



主催者：



協力：





司会

デュアン・シャンカイ 無国籍ネットワーク運営委員
中野響子 無国籍ネットワークユース卒業生



開会のあいさつ (13:30~13:45)

稲葉知士 国際教養学部学部長
陳天璽 早稲田大学教授、無国籍ネットワーク発起人



基調講演 (13:45~14:00)

アミット・セン
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) アジア・太平洋地域局 首席無国籍専門官



パネルディスカッション (14:00~15:20)

スピーカー:

ロツィアーナ・モハメド・ラザリ
マレーシア・イスラム科学大学准教授
マイケル・ベニング
Indigenous Children's Learning Centers 事務局長
ボンコット・ナパウンポン
メルボルン大学ロー・スクール ピーター・マクミラン無国籍センター
石川美絵子
日本国際社会事業団 (ISSJ) 常務理事、社会福祉士

モデレーター:

秋山肇 筑波大学助教、無国籍ネットワーク共同代表
長谷川留理華 無国籍ネットワーク共同代表



ワークショップ (15:30~16:50)

無国籍者の暮らしと声
書評『*Stateless*』 陳天璽著 (NUS Press 2024)
ロツィアーナ・モハメド・ラザリ x 陳天璽 x 薬師寺奈々
地球市民~私たちユースが無国籍児と共に生きるには
無国籍ネットワークユース
無国籍者のウェルビーイングのための即興劇
ジョン・ロッシーニ カリフォルニア大学デーヴィス校准教授
俞炳匡 早稲田大学教授

質疑応答

モデレーター:

秋葉丈志 早稲田大学准教授、無国籍ネットワーク運営委員
大島理恵 無国籍ネットワーク事務局長



閉会のあいさつ (16:50~17:00)

秋山肇



6月20日は「世界難民の日」です。
難民の中には無国籍者もいます。